



館内・庭園散歩

<国会前庭でのドラマ等の撮影>

憲政記念館は、国会前庭の管理も行っていますが、この前庭ではいろいろなドラマ・映画の撮影が行われています。本年では、北川景子さんが主演した「家売るオンナ」やサスペンスドラマ「そして、誰もいなくなった」、さらには「仮面ライダーゴースト」などの撮影が行われました（本年公開の「シン・ゴジラ」にも国会前庭で昨年撮影されたシーンがあります。）。また、警視庁が近いせいか、水谷豊さん主演の「相棒」のロケも、本年に限らずたびたび行われています。



あの感動のフィナーレを迎えた、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の最終回の撮影も、国会前庭北地区の時計塔の近くで行われました。雑誌『暮らしの手帖』を創刊した故大橋鎮子（しずこ）氏をモチーフにした、結核で亡くなった父の代わりに家族を支え、挫折しても立ち上がる父のような力強い女性のドラマです。



左の画像は実際の撮影風景です。主人公が、スタッフ

の人達の見ているビル群の方向に、突風のように駆け抜けます。昭和 63 年という設定で放映された映像では、ビル群の間に東京タワーが合成され、とても感動的なものになっていました（このシーンの冒頭には、主人公の後ろの木々の間から、国会議事堂の一部がちらっと映っています。）。

今日も、ドラマのエンドロールに「衆議院憲政記念館」の文字が流れているかも知れません。（画像提供 いずれもNHK）

<東京都立日比谷高校の校外奉仕活動>

平成 20 年から毎年、東京都立日比谷高校の生徒の皆さんに、庭園の落葉清掃をしていただいています。今年は、12 月 6 日に 1 年生 326 名の生徒の皆さん、先生方、父兄の方々に来ていただきました。約 30 分間の成果として、落ち葉が詰まったゴミ袋 100 個の山ができました（次頁参照）。



清掃作業は効率的かつ迅速で、無駄な動きがありませんでした。日比谷高校の



生徒の皆さん、今年もありがとうございました。

<前庭の樹木>

国会前庭北地区、レストラン霞ガーデン南東すぐ脇にユーカリ（オーストラリア原産）の高木があるのをご存じですか。



コアラの主食として有名ですが、それ以外にも、面白いところが満載の樹木です。葉から取れる精油は殺菌・抗炎症作用がある一方、葉には青酸（シアン化水素）が含まれ毒性があります。コアラは母親からユーカリを微生物で半分消化した状態で離乳食として与えられ、微生物

が定着すると解毒できる身体になります。

ユーカリは高温で非常に乾燥するとテルペンという炭化水素を大量に放出します。このテルペンは引火性があるため、オーストラリアでは山火事の原因のひとつとされています。

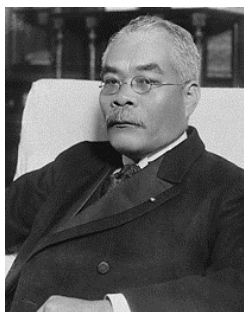
ユーカリは自然発火の山火事を起こすことで、種子を弾けさせます。ユーカリの樹皮は非常に燃えやすいものの、剥がれ落ちるため、その幹は燃えることはありません。他の樹木を焼き尽くして繁殖域を広げた後、焼けた灰を栄養分として吸収し種子が発芽します。実は、ユーカリは適者生存の覇者なのだそうです。



【参考文献】

「ニューフードインダストリー」（食品資材研究会 2002 年 3 月号）
「動物大百科」第 6 巻（平凡社 1986 年）

憲政の十傑 一浜口雄幸一



[国立国会図書館ウェブサイトより]

【略歴】

1870 年（明治 3）、高知県長岡郡池村唐谷（現高知市五台山）に水口胤平の三男として出生。1889 年、浜口家に入籍、翌年、浜口夏と結婚。1895 年、

帝国大学法科大学政治学科を卒業後、大蔵省に入省、地方の税務管理局等を回る。1902 年、東京税務監督局長として中央に復帰、専売局長官等を経て、1912 年（大正元）、第 3 次桂太郎内閣の通信次官に抜擢。大正政変による内閣倒壊後、立憲同志会に入党、1915 年の総選挙で初当選。翌年、憲政会の結成に参加。憲政会苦節十年を経て、1924 年、加藤高明内閣の蔵相、1926 年、若槻礼次郎内閣の内相を歴任。1927 年（昭和 2）、立憲民政党初代総裁に就任。1929 年、大命降下により首相として金解禁やロンドン海軍軍縮条約締結等を実行。1930 年、東京駅で狙撃され重傷を負い、翌年、内閣総辞職、死去。

【憲政において果たした功績】

浜口雄幸は、戦前期の政党政治の確立に大きな役割を果たし、わが国を代表する政党政治家の一人とされている。特に、首相時におけるロンドン海軍軍縮条約問題を通じて、抵抗勢力であった軍部・枢密院を、世論や元老西園寺公望らの支持を得つつ強い指導力を発揮して抑制することに成功した。これにより、政党内閣による国政の全体的なコントロールがほぼ可能となるような政党政治の体制がつ

くられたといえる。

また、普通選挙制度の実現によって新たに登場した民衆勢力に対し、「政治の公明」を掲げて宣伝啓蒙に努めた。自身の謹厳実直などと評された人格とあいまって、乱闘や汚職事件等で失墜していた政党政治に対する国民の信用を取り戻すことにも大きく貢献した。

金解禁や財政整理等により日本経済の発展と国民生活の安定をめざし、日本の長期的発展を図るため国際的な平和協調路線を進めた浜口は、更なる政党政治の発展に向け活躍が期待された。しかし、予想をはるかに超えた世界恐慌による打撃と浜口自身の遭難によってその道は閉ざされ、同時に政党政治も凋落していったのである。

【エピソード】

子供の頃から無口な浜口は政治家となっても演説が苦手で、演説会では浜口の訥弁に困った党員が、聴衆に対して「内容を聞け」と訴えるほどであった。このため、第 13 回総選挙で落選した際に、遊説先で毎日 3 時間ずつ 120 回も演説を行うなど修行に励んだ。おかげで、雄弁家の一人に数えられるほど上達した。また落選中は、政党事務員の徽章を付けて議会に通い続けたり、党本部の政務調査会で党務に精励した。この真面目で誠実な態度に、官僚出身でありながら、政党内生え抜きの政治家達の信望をも集めたのである。

【参考文献】

川田稔「浜口雄幸」（ミネルヴァ書房 2007 年）
波多野勝「浜口雄幸」（中央公論社 1993 年）
浜口雄幸伝刊行会編「浜口雄幸伝」（1931 年）

常設展のご案内

<1 階ロビー>

「憲政記念館の由来」を紹介



「憲政の神様」尾崎行雄を顕彰するため、超党派の議員で立ち上げ、天皇陛下から子どもまでが加わったプロジェクト。それが憲政記念館の前身、尾崎記念会館の建設でした。

議会制民主主義は、一人一人が「偉大なるフォロアー」となって初めて機能します。その意味も込めて当館の出発点をパネルと映像で振り返ってみることにしました。

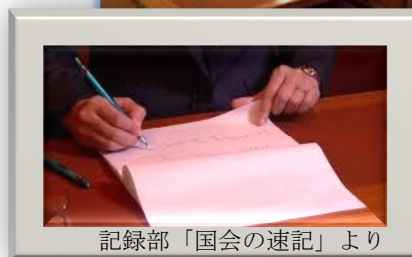
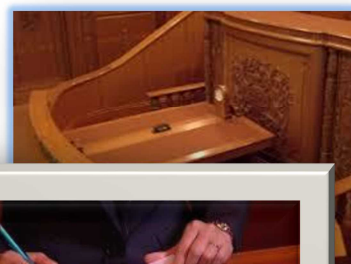
<1 階展示室>

「国会の速記」及び「議場体験コーナー」の近況報告



11 月 2 日、フジテレビ「みんなのニュース」で国会の速記が紹介されました。これに先立ち、当館議場体験コーナーで、速記者を交えての取材が行われ、記録部が制作し、YouTube で公開されている映像「国会の速記」に続くロケとなりました。

衆議院の本会議が行われる場所を模した議場体験コーナーは、大人も子どもも楽しめます。たまに「異議あり!」「静粛に!」という子どもの声が事務室まで聞こえます。



記録部「国会の速記」より

< 編集後記 >

お陰様をもちまして「普通選挙をめざして―犬養毅・尾崎行雄―」特別展を無事終了することができました。多くの方に来館いただき、期間中の来館者は 9,975 名でした。誠にありがとうございました。



【発行人】 花島克臣
【編集責任者】 高橋和彦

【印刷・発行】 衆議院事務局 憲政記念館
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-1-1
TEL : 03-3581-1651 FAX : 03-3581-7962

本紙について、私的利用・引用等著作権法で認められた行為を除き、無断で改変・転載・複製を行うことはできません。引用される場合には出所を明示し、また、転載等を行う場合にはあらかじめ当館へご連絡ください。